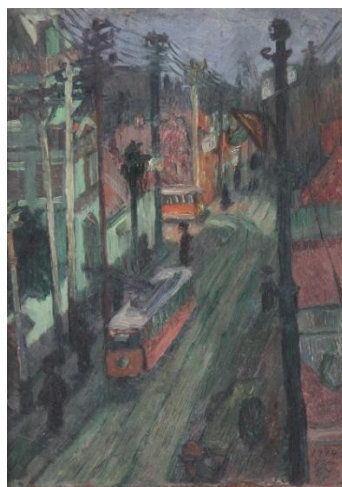


初冬收藏品展「洋画から新日本画へー山口蓬春の飽くなき挑戦ー」

スペシャル・トーク

『修復の現場から～蓬春の油彩画からわかること～』

山口蓬春は、若かりし頃に描いた油彩画を戦時中も手放すことなく生涯大切に所持していました。そこには蓬春のどんな想いが託され、それらの油彩画は私たちに何を語ってくれるのか。このたび、蓬春の油彩画の修復を手掛けた修復家をお招きし、修復の秘話をお話しいたします。 ※別館での解説の後、展示室で実際に作品を鑑賞します。



左：《ニコライ堂》大正5年(1916)
中：《路面電車》大正3年(1914)
右：《風景》大正元年(1912)
* 何れも山口蓬春記念館蔵

【日時】12月9日(日)14時～(約60分)

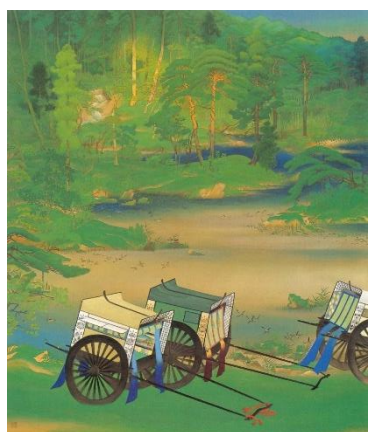
【解説者】森直義(修復家・森絵画保存修復工房代表)、当館学芸員

【参加費】無料(但し、当日の入館料は別途必要)

【定員】先着30名

【申込み】開始時刻までに別館にご集合ください

そのほかにも... 展示の見どころを当館学芸員が解説します! 【日時】平成31年2月3日(日)14時～(約20分)
【定員】先着10名 【集合】開始時刻までに入館料をお支払いの上、受付前にご集合ください



左：《緑庭》昭和2年(1927)
中：《枇杷》昭和31年(1956)

右：《新冬》昭和37年(1962)
* 何れも山口蓬春記念館蔵